

給食だより 1月



今年一年、学校給食へのご理解、ご協力を有難うございました。来年は羊年。羊のように穏やかで優しい気持ちで毎日を過ごせると良いですね。給食室では、来年も、安全でおいしく楽しい給食！と職員一同張り切っています。来年もよろしくお願いいたします。

1月24日～30日は給食週間です 学校給食の大切さを知ろう！



平成26年度
高岡市立牧野小学校



1月24日から30日は全国学校給食週間です！



全国学校給食週間は、戦後により中断していた学校給食が、昭和21年12月24日に再開したことを記念して始まりました。現在は、冬休みのない1ヶ月後の1月24日からの1週間とし、毎年様々なテーマをもとにして特別な献立を実施しています。

毎日何気なく食べている給食ですが、この給食がみなさんの口が届くまでには、たくさんの人が関わっています。食材の生産者や、調理員といった様々な人たちがいるおかげで給食が出来上がります。これらの人たちの苦労や思いを考えながら給食を味わって食べましょう。

給食にはこんな人たちが関わっています

農家さん

野菜や果物などの農作物をつくられている人です。



パン屋さん や ごはん屋さん

パンを作る人、ごはんを炊く人です。



運送業の人

食材や物資を運んでくれる人です。



漁師さん や 畜産農家さん

魚や海産物をとったり、養殖をしたりする人。牛・豚・鶏を育てて食肉や卵を生産する人です。



牛乳屋さん

牛を育てて牛乳を生産する人です。



栄養士

献立を考えたり、食材の注文をしたりする人です。



調理員さん

衛生に気を付けて、おいしい給食を作ってくれる人です。



残さず食べること、好き嫌いしないこと、食器を丁寧に扱うことも食事を作ってくれる人たちに感謝をすることになります。また、「いただきます」や「ごちそうさまでした」の挨拶も忘れずにしましょう。

学校給食の歩み



明治22年

献立内容

おにぎり、塩さけ、菜の漬物



学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町忠愛小学校で、貧しくて生活に困っている児童を対象に昼食を出したことが始まりだとされています。

昭和21年

献立内容

ミルク（脱脂粉乳）、トマトシチュー



戦後、栄養失調状態の子供たちを救うためアメリカの民間団体からの援助物資により、昭和21年12月24日に学校給食が再開されました。

昭和25年

献立内容

コッペパン、ミルク（脱脂粉乳）、ポタージュスープ、 コロツケ、せんキャベツ、マーガリン



アメリカから贈られた小麦を使用したパン、ミルク、おかずによる完全給食が8大都市で実施されました。

昭和40年

献立内容

ソフト麺のカレーあんかけ、牛乳、甘酢あえ、果物（黄桃）、チーズ



昭和39年以降、学校給食に本格的に牛乳が取り入れられるようになりました。

昭和52年

献立内容

カレーライス、牛乳、塩もみ、果物（バナナ）、スープ



米飯は、教育上有意義と考えられ、昭和51年度以降は米飯給食が広がりました。

そして、現在
**世界に誇れる
学校給食！**

地場産物を使い、地域の特色ある給食や郷土食、世界各地の料理など献立の種類も増え、豊かで恵まれた学校給食となっています。

